

患者さんパンフレット

四国がんセンター
泌尿器科



私たち医療スタッフは

- I 入院や手術に対する不安を軽減し、最良の状態で治療が受けられるようお手伝いいたします

- II 手術後、合併症を起こさず、順調に回復され安心して退院を迎えられるようお手伝いいたします



泌尿器科（腰椎麻酔）手術を 受けられる方へ

さま

主治医

受け持ち看護師



手術までに準備していただきたいこと

- 他の病院で処方され、現在服用している薬がある方は、入院時に必ずお持ちください（入院中は原則、他の病院の受診ができないため、入院期間を含め余裕をもってお持ちください）
- お薬手帳をお持ちの方は、入院時に必ずお持ちください
- サプリメントを飲んでいる方は必ずお申し出ください
- 入院するまでに爪は短く切っておいてください

<以下のものは病院で貸し出し、購入もできます>

- ねまき
- 術衣（手術後用）、病衣
- バスタオル
- タオル
- ティッシュペーパー 1箱

「CSセットのご案内」冊子を
参考にしてください

- 紙おむつ（マジックテープ式） 1枚
- コップ、曲がるストローまたは吸い飲み
- 水（ペットボトル 500ml） 1本

「入院される方へ」の
パンフレットを
参考にしてください

<ご自宅からお持ちください>

- ビニール袋 3枚

（靴、パジャマ、下着などを入れるために使います）

※病衣は普段よりひとサイズ大きいものを準備してください

※同意書がお手元にある方は忘れずお持ちください



医療品ショップ くろ〜ば〜

場所 2階 中央処置室前
営業時間 8:30~17:00
定休日 土・日・祝日・年末年始
電話 (089) 999-1129



ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、日々の目標として**患者さんご自身の目標**をかせげ、さらによりよい状態で退院を迎えられるよう**医療スタッフの目標**もあげています

入院は5日間の予定です

手術後の回復は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります。その都度対応していきますので、ご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活が不安なく送られるようにサポートさせていただきます





今日の目標

- ・入院生活、手術について医療スタッフの説明が理解できる
- ・わからないことは質問することができる

<時間>

<予定>

	入院	<p>【入院後に以下のことを予定しています】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください） ・検温、血圧測定、身体測定 ・連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り ・午前入院の場合は昼食から提供します ・医師より手術の説明があります ・説明を聞いた後、納得し同意できれば同意書にサインをし、看護師にお渡しください ・わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいことなどがありましたら、遠慮なくお尋ねください ・手術に備えての練習 <p><お薬></p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の病院で処方された薬は、一度お預かりします 医師に確認後、続けるか、中止するかをお伝えします <p><手術の準備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・シャワー浴をしましょう ・必要物品の確認をします <p><食事></p>
18:00	夕食	<ul style="list-style-type: none"> ・午前入院の場合は、昼食から提供します ・基礎疾患（糖尿病・高血圧等）がある方は、治療食となる場合があります ・食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください
21:30	消灯	<ul style="list-style-type: none"> ・21時以降は絶食です ・眠れない場合は、安定剤を服用することができます

★水分について★

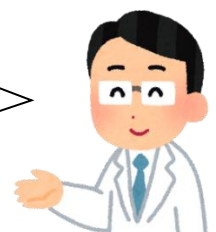
午前手術の方は翌朝3時まで

午後手術の方は翌朝7時まで

水やお茶のみ、飲むことができます

医療スタッフの目標

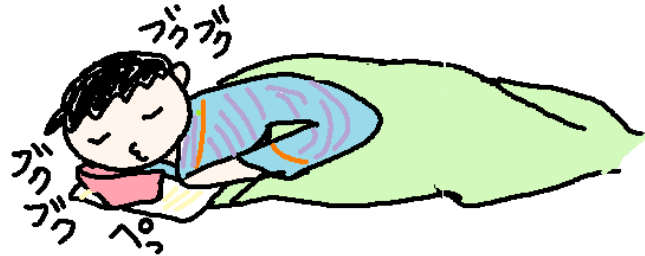
- ・安心して入院生活を送られるよう支援します
- ・手術の準備をすすめられるよう支援します



手術に備えての練習

手術後のうがいについて

手術後は、絶食ですが、水分をとることはできます
また、口の中を清潔に保つために、うがいをします



<寝たままでのうがいの方法>

顔を横に向け、ブクブクうがいをした後、ゆっくり吐き出しましょう
(手術後は看護師がお手伝いします)

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう



手術前の目標

- ・ 予定どおりに手術を受けることができる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温、血圧測定

医師の指示がある方は、
少量の水で薬を服用します

【薬剤名：

】

手術開始が9時以外の方は点滴を行います

★水分について★

午前手術の方：午前3時以降

午後手術の方：午前7時以降

水分をとることはできません

手術30分
～1時間前

洗面、歯磨き、トイレを済ませてください

お渡しする**手術着**に着替えます

パンツやズボンははいたままでかまいません

手術時に貴金属を身に着けているとやけどをすることがあります

安全に手術を行うために以下のものは全て外してください

	<input type="checkbox"/> 入れ歯		<input type="checkbox"/> 腕時計
	<input type="checkbox"/> コンタクトレンズ		<input type="checkbox"/> イヤリング・ピアス
	<input type="checkbox"/> 磁気製品・湿布		<input type="checkbox"/> ネックレス
	<input type="checkbox"/> かつら・ウィッグ		<input type="checkbox"/> 指輪
	<input type="checkbox"/> お化粧		<input type="checkbox"/> ブレスレット
	<input type="checkbox"/> つけまつげ		<input type="checkbox"/> ヘアピン
	<input type="checkbox"/> マニキュア		<input type="checkbox"/>

※眼鏡をかけて手術室へ行く場合は、眼鏡ケースをご準備ください

検温、血圧測定

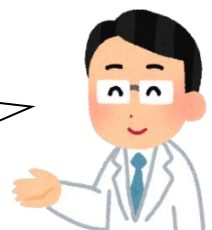
手術5分前

看護師と一緒に（ 歩行 ・ 車椅子 ・ ストレッチャー ）で
手術室へ行きます

※貴重品は、ご家族の方が保管してください

医療スタッフの目標

- ・ 予定どおり手術が受けられるよう支援します



ご家族の方へ

手術当日は（ ）時までに病棟へお越しください

手術中は、必ず院内でお待ちください（2階フロア・4階家族控え室など）

必ず所在を明らかにし、連絡が取れるようお願いいたします

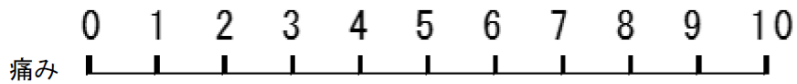
手術後、主治医から手術の結果について説明があります

他の患者さんの手術の関係で、手術後すぐに説明できない場合はお待ちいただくことをご了承ください

手術後の痛みについて

手術後の痛みについては、痛みの程度を看護師が数字でお聞きします（NRS）
数字での表現が難しいときは、フェイススケールでお答えください

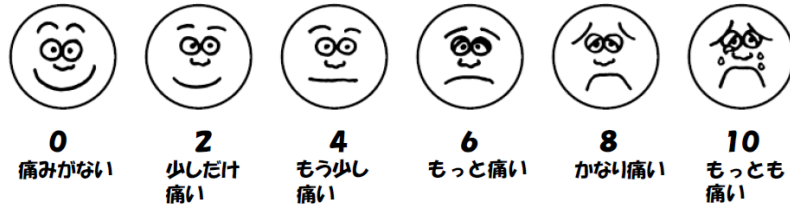
1) NRS



全く痛くない

これ以上耐えられないほど
ひどい痛み

2) フェイススケール



がん疼痛コントロールマニュアル参照

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう



今日の目標

- 痛みを我慢せず、医療スタッフに伝えることができる
- 血尿スケールが比色2以下である

手術後は、時間を決めて以下のことを行います

検温、血圧測定、状態観察

- 帰室時、帰室後15分、30分、1時間、2時間に行います
(これ以外も必要なときに測定します)

点滴

- 手術の後は食べることができないため、点滴があります
(点滴は明日の朝まで継続して行います)
- 水やお茶などの水分はとることができます

尿の管

- 手術中に尿をとる管が入ります
引っぱり曲げたりしないようにしましょう
- 尿の袋は下腹部より下にしましょう
- 管の不快感や違和感がある場合は、薬を使うことができますので
看護師までお知らせください

痛み

- 痛みは、我慢する必要はありません
- 痛みが強い場合は、痛み止めを使います

活動

- 帰室後、ベッドの頭元を少し上げます
- 体の向きを変えるときは、看護師がお手伝いします
- 帰室後6時間後より、ベッドの上で座ることができます
- 吐き気や頭痛を感じたら、看護師までお知らせください

医療スタッフの目標

- 手術後の合併症の早期発見に努めます
- 床ずれの予防に努めます





今日の目標

- 痛みを我慢せず、医療スタッフに伝えることができる
- 排尿時の痛みや尿の出にくさがない
- 血尿スケールが比色2以下である

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温、血圧測定

尿がたくさん出るように
水分を1500~2000ml/日
とりましょう

7:30

朝食（全粥）
普段飲んでいる薬を服用してください
医師の指示があれば、本日より尿をスムーズに出すための薬を服用
します（7日間）

9:00

回診
傷のガーゼを外します
尿の管を抜きます（最初の尿は看護師にみせてください）
（状態によっては抜けないこともあります）
管が抜けたら、排尿日誌を書きましょう（最終ページ）

排尿日誌は、毎日記入しましょう
※排尿日誌は、退院前日に一度、看護師に提出してください

医師の指示があれば、排尿後、膀胱の中に尿が残っていないかを確認します
尿が出たら看護師にお知らせください

10:00

検温、血圧測定
看護師と一緒にベッドの横に立ち、歩いてみましょう

12:00

昼食（常食）

14:00

検温、血圧測定

廊下を歩いてみましょう
シャワー浴、または体を拭きます（看護師がお手伝いします）

18:00

夕食（常食）

19:00

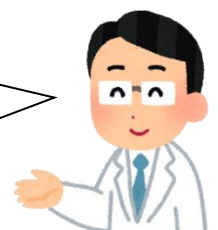
検温、血圧測定

21:30

消灯

医療スタッフの目標

- 手術後の合併症の早期発見に努めます
- 床ずれの予防に努めます



尿の管が抜けた後の注意すべき症状

- 血尿が濃くなる
- 血の塊が出る
- 尿が出にくい
- 残尿感がある
- 下腹部が張る

などの症状があるときは、看護師または医師にお伝えください

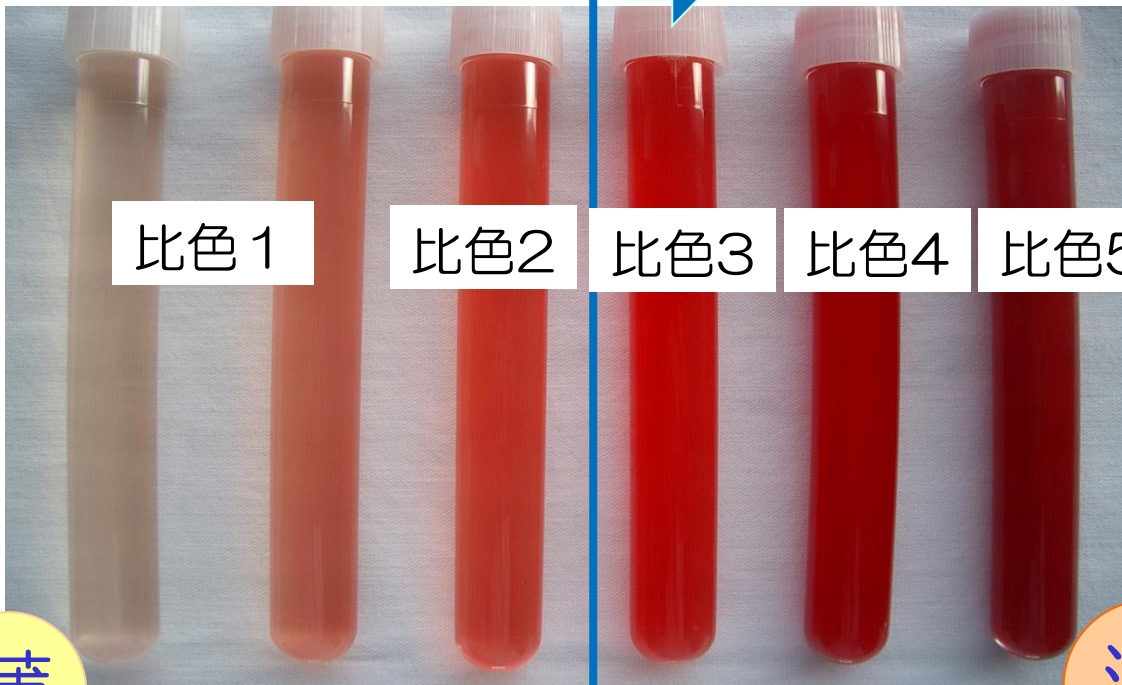
血尿が濃くなった場合、
カップをお渡ししますので
血尿の程度を確認してみましょう

血尿の濃さについてお聞きします
下の表を参考に、血尿の濃さ
をお伝えください



※**比色3以上**になったら
看護師に知らせてください

血尿スケール



比色1

比色2

比色3

比色4

比色5

薄

濃

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

退院準備期 月 日～



今日の目標

- 排尿時の痛みや尿の出にくさがない
- 血尿スケールが比色2以下である
- 日常生活の注意点について理解できる

<時間>

<予定>

6:00

起床

7:30

朝食

9:00

回診

排尿日誌を書きましょう（最終ページ）

排尿日誌は、毎日記入しましょう

※排尿日誌は、退院前日に一度、看護師に提出してください

10:00

検温、血圧測定

12:00

昼食

シャワー浴、または体を拭きます
（看護師がお手伝いします）

18:00

夕食

21:30

消灯

尿がたくさん出るように
水分を1500～2000ml/日
とりましょう

退院後の日常生活について
説明をします

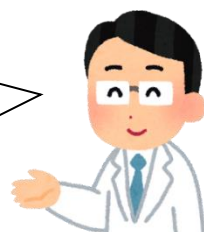


MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 手術後の合併症の早期発見に努めます
- 退院後の日常生活について不安がないよう支援します



退院日 月 日



今日目標

- 日常生活の注意点について理解できる
- 退院できる

<時間>	<予定>
6:00	起床 検温、血圧測定
7:30	朝食
9:00	回診 「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けします 2階窓口でお支払終了後、病棟まで連絡票をお持ちください 次回外来予約票をお渡しします
10:00	退院 退院前に忘れ物がないようご確認ください

次回外来受診は

月 日 () 時の予定です

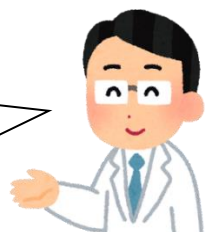
* 外来受診時に検査のある場合は、事前に医師から説明があります

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 退院後の日常生活について不安がないよう支援します



退院後の日常生活について

● 食事

水分摂取は、1日2000mlを目標にしましょう
栄養のバランスに気をつけましょう
原則的には食事の内容に制限はありませんが、薄味を心がけましょう
アルコール類は次回外来受診日まで飲まないでください



● 排泄

精液に血液が混じることがありますが、心配ありません
規則的な排便習慣をつけることが大切です
朝食後、トイレに行く習慣をつけましょう
軽い運動や水分をとるように心がけましょう
便秘気味の方は、退院までに医療スタッフと対処方法について相談しておきましょう

● 活動

規則正しい生活をして、適度な運動をしましょう
まずは軽い散歩や買い物から始めてみましょう
徐々に活動量を増やしていき、疲れないように調節しましょう
長時間の自転車やバイク・自動車の運転は十分に気をつけ、徐々に慣らしていきましょう
活動について迷うことがあれば、医療スタッフにご相談ください

● 入浴

体を清潔に保つことが大切です
入浴は、特に制限はありません
今までどおりでかまいません



● お薬

薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください
他の病院の薬を服用する場合は、医師に相談してください



●仕事

これから先、安心して働き続けるためには、体の状態に合わせた休み方や働き方が必要になることもあります

病院では、患者さんの「働きたい！」をサポートしています

私たちと一緒に考えていきましょう



ちりょうさ
厚生労働省『治療と仕事の両立支援』キャラクター

【相談窓口】

がん相談支援センター相談員

・医療ソーシャルワーカー、看護師

<出張相談>

・ハローワーク松山就職支援ナビゲーター

・両立支援促進員（社会保険労務士）

ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください

●その他

定期受診は必ず受けるようにしましょう

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

排尿日誌

診察券番号 _____

(朝 10:00 ~ 翌朝 10:00 までを1日分とします)

氏名 _____

例

日付	尿回数	尿が 出にくい	残尿感	下腹部の 張り	尿道の 痛み	血尿 スケール	飲水量
4/7	正一	×	×	○	×	比色2	500 200
/							
/							
/							
/							
/							
/							
/							
/							
/							
/							
/							
/							
/							
/							

※退院前日に看護師に提出してください
コピーをして、冊子をお返しします



- 38.0℃以上の熱が出たとき
- 尿が出にくくなったとき、出なくなったとき
- 水分摂取量に関わらず、血尿が濃くなったとき

上記のような症状がある場合やご心配なことがある場合は
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8:30~17:15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

* 外来受診日や検査予約日の変更については、
予約センターにご連絡ください

【平日】 8:30~17:15
(直通番号) 089-999-1112



泌尿器科（腰椎麻酔）手術を受けられる方へ